

- 問1 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選択してください。 (2024年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. 尾道・今治ルート | 2. 明石海峡ルート | 3. 神戸・鳴門ルート | 4. 児島・坂出ルート |
|-------------|------------|-------------|-------------|
- 問2 吉備中央町における2014年から2021年にかけての農業の動向について、統計的な傾向を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 耕作放棄地を工業団地へと転用したため、農地面積は減少しており、果実の産出額も2014年以降、減少傾向にある。 | 2. 高齢化による離農者が相次いだため、1戸あたりの経営面積は縮小したが、ブランド化による単価上昇によって果実の産出額は横ばいとなっている。 | 3. 品種改良によって収穫時期を分散させることには成功したが、経営規模や新規就農者の数については、期間を通じて大きな変化は見られない。 | 4. 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。 |
|---|--|---|--|
- 問3 中国・四国地方の中央部に位置する瀬戸内海沿岸において、大規模な石油コンビナートが形成され、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などのインフラが整備された背景として、地理的条件から説明したものとして適切なものはどれですか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本海側からの季節風によって大量の降雪があり、豊富な水資源を工業用水に転用しやすかったから | 2. 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから | 3. 広大な砂丘や平坦な土地が海岸線まで続いており、大規模な工場用地の確保が容易であったから | 4. リアス海岸による複雑な入り江が多く、天然の良港として古くから製鉄業が独占的に発達したから |
|--|---|--|---|
- 問4 鳥取県北部に位置する砂丘地帯では、砂地が乾燥しやすく水持ちが悪いという自然条件を克服するため、ある仕組みを導入して農業を行っています。この地域で梨などの果樹栽培やラッキョウの栽培を可能にするために整備された設備と、その仕組みの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 灌漑（かんがい）設備を整備し、スプリンクラーを用いて散水する仕組み | 2. 温室（ビニールハウス）を建設し、暖房設備で温度を一定に保つ仕組み | 3. 温田を乾田化するために、地下に大規模な排水路を張り巡らせる仕組み | 4. 客土（きゃくど）によって土質を改善し、大規模な棚田を造成する仕組み |
|--------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|
- 問5 日本の地方別産業統計において、人口規模が約1100万人であるのに対し、瀬戸内工業地域が存在により工業生産額が約36兆円と高い水準にある一方で、農業生産額は約0.9兆円と他地方に比べて低い特徴を示す地方区分はどれか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|------------|---------|
| 1. 九州地方 | 2. 北海道地方 | 3. 中国・四国地方 | 4. 東北地方 |
|---------|----------|------------|---------|
- 問6 瀬戸内海沿岸の地域では、年間を通じて降水量が少なく晴天の日が多いという気候の特色が見られます。このような気象条件が形成される理由として、地形と季節風の関係を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--------------------------------------|--|
| 1. 暖流である対馬海流の影響により、一年を通じて乾燥した空気が流れ込みやすいため | 2. 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った空気を運ぶ季節風をさえぎるため | 3. 貿易風が一年中吹き抜けることで、上空の雲が常に押し流されているため | 4. 冬の季節風が日本海側で水分を落としたあと、高い山地がないためそのまま吹き抜けるため |
|---|--|--------------------------------------|--|
- 問7 四国地方に位置する徳島県の統計では、年間商品販売額が1999年の約2兆1千億円をピークに、2014年には約1兆3千億円まで減少しています。本州四国連絡橋の整備が進んだ時期に、このような統計結果が見られるようになった背景として最も適切なものはどれですか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。 | 2. 交通網の整備により県外からの人口流入が急増し、供給過多となって地元の商店が競争に敗れたため。 | 3. 交通網の利便性が高まった結果、地元の住民が買い物よりも観光に時間を割くようになり、消費が分散したため。 | 4. 交通網の整備によって物流のコストが下がり、地元で販売される商品の価格が全体的に安くなったため。 |
|---|---|--|--|
- 問8 中国地方の人口分布の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が高く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が低い。 | 2. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。 | 3. 中国山地に近い県ほど人口密度が高く、日本海側や瀬戸内海側の沿岸部では人口密度が低くなる。 | 4. 中国地方5県のうち、最も面積が広い島根県の人口密度が最も高く、広島県の人口密度は最も低い。 |
|--|--|---|--|
- 問9 日本の主な工業地域・地帯における製品出荷額の内訳を示した統計において、機械類の割合が約3割にとどまる一方で、化学工業が約2割、金属工業が1割強を占め、他の工業地域に比べて化学や金属などの基礎素材産業の割合が高い特徴を持つ工業地域はどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 瀬戸内工業地域 | 2. 阪神工業地帯 | 3. 中京工業地帯 | 4. 北九州工業地域 |
|------------|-----------|-----------|------------|
- 問10 高知県の平野部などで盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の生育期間を短縮し、本来の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何というか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 抑制栽培 | 2. 促成栽培 | 3. 二毛作 | 4. 近郊農業 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問11 瀬戸内地方に位置する香川県の讃岐平野では、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴があります。日本海から中国山地、瀬戸内海（讃岐平野）、四国山地、太平洋へと続く断面図において、季節風が山地に遮られる様子を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため | 2. 夏と冬の湿った風がともに讃岐山脈に遮られ、瀬戸内海からの水蒸気が平野部に到達できなくなるため | 3. 太平洋からの湿った風が中国山地に、日本海からの湿った風が四国山地に遮られ、常に乾燥した空気が滞留するため | 4. 冬の湿った風が四国山地に、夏の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、季節を問わず上昇気流が発生しにくいため |
|--|---|---|---|
- 問12 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、世界最長の吊り橋である明石海峡大橋を含む「神戸・淡路・鳴門ルート」における、2000年から2016年にかけての交通量と旅客輸送の変化について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 通行台数は増加しているものの、環境保護の観点から大型の乗合バスの通行が制限されたため、旅客輸送の主体は鉄道に移行した。 | 2. 通行台数は1300万台前後で横ばいであるが、景気の影響によって貨物輸送量と乗合バスの旅客数はともに大幅に減少している。 | 3. 年間の通行台数は約427万台減少しており、それに伴って本州と四国を結ぶ移動手段は乗合バスからフェリーへと回帰している。 | 4. 年間の通行台数が約427万台増加して1300万台を超え、徳島県と兵庫県の間を結ぶ乗合バスの旅客輸送人員も増加傾向にある。 |
|--|--|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。
問2	答え 4 新規就農者の受け入れと生産基盤の整備により、農家1戸あたりの経営面積が拡大し、それに伴って果実の産出額も大きく伸びている。	吉備中央町の統計では、2014年から2021年にかけて営農規模（1戸あたりの面積）が26aから37aへと拡大しています。これは町による「ぶどう生産団地」の整備や共同出荷体制、研修制度の充実が功を奏し、意欲のある新規就農者が増えたためです。この経営規模の拡大に比例するように、果実の産出額も同期間で顕著な増加を示しており、地域の基幹産業としての成長が見て取れます。
問3	答え 2 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから	瀬戸内海沿岸は、北の中国山地と南の四国山地に挟まれているため、冬や夏の季節風が遮られ、年間を通じて波が穏やかで晴天が多いのが特徴です。この穏やかな海域は大型船の航行や接岸に適しており、原材料の輸入や製品の輸出を行う石油化学コンビナートの発達を促しました。また、瀬戸内海を挟んだ地域間の物流をさらに活発にするために、瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が建設されました。
問4	答え 1 灌漑（かんがい）設備を整備し、スプリンクラーを用いて散水する仕組み	砂丘地帯は水が地中に浸透しやすく、植物の成長に必要な水分を保持しにくいという課題があります。この問題を解決するために、大規模な灌漑設備を整え、スプリンクラーで効率的に水を供給する技術が導入されました。これにより、乾燥に強いラッキョウだけでなく、梨などの果樹栽培も盛んに行われるようになりました。
問5	答え 3 中国・四国地方	この地方区分では、瀬戸内海沿岸に形成された瀬戸内工業地域に石油化学コンビナートや自動車工場などが集積しており、工業生産額が経済規模の中で大きな割合を占めています。誤答選択肢である東北地方や九州地方は、広大な平野や温暖な気候を活かした農業が盛んであり、農業生産額が数兆円規模に達するため、農業生産額が1兆円を下回る中国・四国地方との明確な判別ポイントとなります。
問6	答え 2 北側の中国山地と南側の四国山地が、湿った空気を運ぶ季節風をさえぎるため	瀬戸内地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれています。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にさえぎられるため、それぞれの山地の風下にあたる瀬戸内海沿岸には湿った空気が届きにくくなります。この地形的要因によって降水量が少なくなり、晴天の日が多くなるという独特の気候が生まれます。
問7	答え 1 大都市への移動が便利になったことで、地元の住民が関西方面などの大都市で買い物をするようになったため。	交通網の整備は本来、地域経済の活性化を期待して行われますが、徳島県のように大都市圏（関西方面）に近い地域では、住民が大都市へ容易に行けるようになったことで、地元での消費が減少する事態を招きました。統計データに見られる販売額の減少は、交通の便が良くなったことで地方の購買力が大都市に吸い寄せられた結果であり、これをストロー現象と呼びます。人口減少や少子高齢化だけでなく、こうした交通網による外部への流出も、地方の消費に大きな影響を与えています。
問8	答え 2 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。	中国地方は、中国山地を境として北側の山陰と南側の瀬戸内に分かれます。瀬戸内側は、平地が広がり気候が温暖であることや、瀬戸内工業地域として産業が発達していることから、広島県や岡山県を中心に人口が集中し、人口密度が高くなっています。対して、山陰地方の鳥取県や島根県は、地形的制約や過疎化の影響もあり、人口密度が低い傾向にあります。
問9	答え 1 瀬戸内工業地域	瀬戸内工業地域は、高度経済成長期に整備された石油化学コンビナートや製鉄所が現在も大きな役割を果たしています。自動車産業が圧倒的なシェアを占める中京工業地帯（機械が約7割）などと比較すると、化学工業や金属工業といった重化学工業の割合が高いことが、出荷額の内訳における大きな特色となっています。
問10	答え 2 促成栽培	温暖な気候を活かし、ビニールハウス等で温度を管理して出荷時期を早める方法です。高知平野のナスやピーマン、宮崎平野のキュウリなどが代表例です。これに対し、高冷地の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問11	答え 1 夏の湿った風が四国山地に、冬の湿った風が中国山地にそれぞれ遮られ、山を越えた乾いた風が流れ込むため	讃岐平野を含む瀬戸内地方は、北側に中国山地、南側に四国山地が位置する地形となっています。冬は日本海側から吹く湿った季節風が中国山地で遮られて雪を降らせ、山を越えた乾いた風が吹き込みます。反対に夏は太平洋側から吹く湿った季節風が四国山地で遮られて雨を降らせ、やはり山を越えた乾いた風が吹き込みます。このように、二つの高い山地に囲まれているために、年間を通じて降水量が少なくなるという特徴が生じます。
問12	答え 4 年間の通行台数が約427万台増加して1300万台を超え、徳島県と兵庫県の間を結ぶ乗合バスの旅客輸送人員も増加傾向にある。	1998年の明石海峡大橋の開通により、神戸・淡路・鳴門ルートは本州と四国を結ぶ主要な交通路となりました。統計データによると、2000年から2016年の間にこのルートの年間通行台数は大幅に増加し、利便性が高まったことで高速バス（乗合バス）による旅客輸送も活発になっています。この変化により、かつて輸送の主役であったフェリーの利用が減少するなど、四国地方の交通体系に大きな影響を与えました。